

新たな魅力の創出と 持続可能なまちづくりをPR！

なかしま まい
中島 麻衣さん (36歳)
＝郡町1＝



今回は特別インタビューとして、6月から地域おこし協力隊に就任した中島さんにお話を伺いました。

中島さんは、広島県出身で、京都府などで気候変動問題に対する活動やヴィーガン（動物性由来の物を使わない生活スタイル）として飲食店でメニュー開発などに携わってこられました。

▶勝山で活動しようと思ったきっかけは？

京都府で勝山の方と知り合い、勝山を知ることになりました。

昨年、初めて勝山を観光し、飲食店にヴィーガン向けのメニューがなかったことが心残りでしたが、豊かな自然と、人の優し

さに触れ、勝山がすぐに好きになりました。

その後、地域おこし協力隊の募集を知り、ヴィーガン向けのメニュー開発や勝山の魅力を市内外にPRすることで、インバウンド対策や移住推進に貢献できないかと考えるようになりました。

▶今後の活動は？

勝山を訪れる国内外の観光客、特にヴィーガンやベジタリアン向けの「草食恐竜弁当」の開発に取り組み、新たな魅力を創出できたらと思っています。

また、勝山市の自然と共存する、持続可能なまちづくりは、気候変動問題が起こっている世の中において、お手本となる活

動です。この素晴らしい取り組みをSNSで市外に積極的に発信し、環境問題に対する意識啓発はもちろん、勝山に住みたいと思う方を増やしていきたいです。

市民の皆さんにももっと勝山を自慢してもらえたらと思います。

▶勝山での生活はいかがですか

自転車です市内を散策すると、見惚れる風景がたくさんあり、元気をもらっています。

今後は、皆さんと交流しながら活動できたらと思います。

移住に関するお問い合わせは
商工観光・ふるさと創生課
(市役所2階)へ ☎88-8105

歯を大切に！

歯は食べ物や飲み物を噛む以外にも話す、表情をつくるなど大切な役割があります。また、歯の健康を保つことは、体全体の健康につながります。いつまでも歯の健康を保ちましょ。

無料歯科健診を 開始します

左記の方は、歯科健診を無料で受診できます。

定期的な歯科検診でお口の健康を守りましょ。

実施期間▶令和3年2月27日(土)まで

対象▶今年度、41歳、51歳、61歳、76歳になる方

※対象者には、受診券を送付しています。

受診方法▶市内歯科医院に電話で予約し、受診してくださ

さい
健康長寿課

☎87・0888



すこやか勝山第6条
家族みんな
丁寧に歯をみがこう！

市では、健康増進計画で、市民行動目標「すこやか勝山12か条」を推進しています。第6条は、歯の健康についての目標です。みんなで歯の健康を保ちましょ。

80歳で20本以上自分の歯を残す「8020」を目指して、お口の中を清潔に保ちましょ。
特に、小学校高学年までは、親子で仕上げみがきをし、大人になっても1日1回は時間をかけて丁寧に歯をみがきましょ。
定期的な歯科健診も忘れずに！



勝山公民館 展示コーナー

西川 郁江さんの絵画展

穏やかな空気感漂う「茶をたてる母」や、どこか懐かしい故郷の風景など、優しいタッチで描かれた油絵やパステル画をお楽しみください。



展示期間▶7月13日(月)～26日(日)
ミニチュアの着物作品展

市民総合大学の「ミニチュア着物づくり」で制作した作品を展示します。鑑賞用ミニサイズですが、本仕立ての作品をご覧ください。



展示期間▶7月27日(月)～8月10日(月・祝)
園勝山公民館 (教育会館1階) ☎88-0800

いきいき★健康長寿

介護のプロが、あなたの介護を応援

「介護のやり方が分からない」「オムツ交換はどうしたらいいの?」「日頃の悩みを聞いてほしい」などの在宅介護の悩みを、介護のプロがご自宅を訪問しお答えします。



利用を希望される方は、地域包括支援センターまたは、ご家族の担当ケアマネージャーへご相談ください。

内容▶介護の専門家による訪問介護相談・指導
※訪問時間は1時間程度で無料です

対象者▶要介護、要支援の認定を受けた方をご自宅で介護されているご家族

園高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900

恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク ジオパーク担当職員 町 澄秋

皆さんご存じのように、勝山市は山々に囲まれ、その中心には九頭竜川が流れています。九頭竜川には、山々から流れる多くの支流があり、たくさんの生き物を育んでいます。

例えば、アユやイwana、ヤマメなどの川魚です。魚が多くいるということは、エサとなる藻類や水生昆虫も豊富にあるということです。また、その魚を狙うサギやカワセミなどの鳥類も暮らしています。川魚を食べる私たちの文化もこのような自然環境を背景に生まれてきたと言えます。

そういった生物を介した恩恵以外にも、私たちは、川を利用し恩恵を受けてきました。

その一つが電力です。滝波川には現在2つの水力発電所(滝波川第一・新薬師発電所)があります。かつては、県内で2番目に建てられた「旧中尾発電所(1908年)」がありました。

この旧中尾発電所でつくられた電力は、電動の織り機に使用されました。また、余剰電力は京都電灯(株)前電気鉄道(現在のえちぜん鉄道)にも用いられ、繊維製品の輸送に一役買っていました。この発電所で使われた発電機は、現在ゆめおれ勝山の敷地内に展示されています。

ー第45回ー 勝山の川の恵と大地の営み



旧中尾発電所第1号発電機
(ゆめおれ広場の展示施設)

水力発電にとって重要なのは言うまでもなく水です。年間を通じて川に安定した水があることが重要なのです。日本、特に北陸地方の方は、川に水があることをごくごく当たり前のこととして捉えますが、実は非常に恵まれていることなのです。アラビアなどの乾燥地域では、雨が降ったときだけ流れる川があったり日本国内でも夏になると水不足になる川もあります。

北陸地方の山々には、冬に雨ではなく雪が降り積もります。滝波川上流には、標高1600m級の大長山や赤兎山があり、冬に積もった雪が少しずつ溶け出すことで年間を通じて川の流量が安定しやすくなっています。(雨だとすぐに流れてしまふ)

このように、私たちが受けてきた川の恩恵には、雪を降らす大地の営みが隠れているのです。



人口の動き

	5月末現在	自然動態			社会動態			6月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	10,837人	8	11	-3	12	13	-1	10,833人	-4人
女	11,906人	3	17	-14	8	20	-12	11,880人	-26人
合計	22,743人	11	28	-17	20	33	-13	22,713人	-30人
世帯数	7,980世帯							7,984世帯	4世帯

7月の納税

国民健康保険税▶第1期 固定資産税▶第2期
納期限▶7月31日(金) 口座振替▶7月27日(月)

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	令和2年6月末	前年比
総件数	138件	-55件
人身事故 (うち高齢者)	3件 (0)	-6件 (-2)
死者 (うち高齢者)	1人 (1)	+1件 (+1)
傷者	2人	-7人
物損事故	135件	-49件